

2023年6月9日開催の会社説明会でいただいたご質問とご回答

Q 資料 23 ページ、ROE 向上のための利益積み上げについて、23 年度の純利益見通しが 18 億円のところ、中期経営計画では 25 年度に 40 億円とほぼ倍増の見通しであるが、この利益積み上げの内訳は。

A 資料 6 ページで顧客部門、市場部門などの内訳をお示ししている。大きくは、市場部門の収益性回復が一つ。また、顧客部門については、預貸金利息差が減少基調の中で法人関連を中心とした役務取引等利益の積み上げで挽回していく。

具体的には、顧客部門の 25 年度の粗利益は 23 年度比横ばいの一方で、市場部門は粗利益は 23 年度比 13 億円増加。また、経費は 23 年度に処遇引き上げや新規投資関連はあるものの、25 年度までに 23 年度比△16 億円を計画。与信関係費用は、21 年度にアフターコロナに向けた予防的な引き当てを実施済みであり、25 年度は 23 年度比△1 億円を計画。

Q 貸出金利息の積み上げの一環として、再生可能エネルギー事業への対応はどう考えているか。

A 預貸金利息差が減少している要因としては、住宅ローン残高が減少している影響が大きいですが、一方で、サステナブルファイナンスを中心に事業性貸出には積極的に対応する方針。サステナブルファイナンスおよび環境分野での 2030 年度までの実行額目標を公表しているが、このうち再生可能エネルギー関連（環境分野）の貸出の実行額としては、23 年度から 24 年度は 230 億円から 240 億円、25 年度は 270 億円程度を計画。このうち、半分程度が県内の案件。県外の案件についても、レンダーとして積極的に参加していきたいと考えている。

以上